

箸中マップ

【2017年12月・箸中区作成】



1

展望ベスト3

- ① 井寺池堤より
- ② 箸墓古墳大池堤より
- ③ ホケノ山古墳頂上より

① 箸墓古墳 (3世紀中～後半)

初めて日本に出現した巨大前方後円墳 (全長 280 ㍎ 全国第 11 位)。卑弥呼の墓とも言われる。「魏志倭人伝」に「卑弥呼以て死す。大いに冢をつくること径百余歩・・・」この径の長さ、箸墓古墳後円部の径 155 ㍎にほぼ一致する。

第 7 代孝霊天皇の皇女倭迹迹日百襲姫命の大市墓に陵墓指定され、立ち入りを制限されている。尚、倭迹迹日百襲姫命を祀る神社は茅原にある神御前神社である。

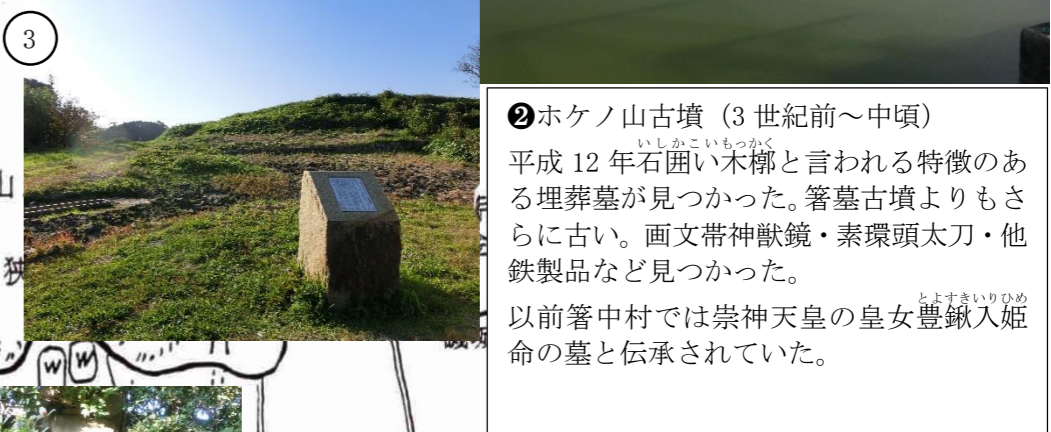


2

② ホケノ山古墳 (3世紀前～中頃)

平成 12 年石囲い木槨と言われる特徴のある埋葬墓が見つかった。箸墓古墳よりもさらに古い。画文帯神獸鏡・素環頭太刀・他鉄製品など見つかった。

以前箸中村では崇神天皇の皇女豊鍬入姫命の墓と伝承されていた。



3

③ 慶運寺裏古墳 (6世紀後半)

本堂の裏にある円墳。大半は失われ石室が開口している。

石棺仏

本堂の前西側にある。九州阿蘇の凝灰岩 (ピンク石) を使った割り貫き式石棺の身部分を利用している。高さ 1.6m の弥勒菩薩 (鎌倉時代) が浮き彫りされている。



④ 檜原神社 (大神神社摂社)

祭神は天照大神。大神神社と同じく本殿のない古代信仰の形をとる。崇神天皇のころ、宮殿から出られた天照大神を最初に祀った地笠縫邑伝承地。(元伊勢) 尚、天照大神をお守りした豊鍬入姫命を祀る社は拝所の北隅にある。また鳥居越の入日の名所である。

祭典 1月成人の日 箸中村檜原敬神正言講祭
8月28日 檜原祭 (箸中・芝村参加)
11月5日 豊鍬入姫宮例祭



⑤ 井寺池 (奈良県ため池百選)

上池と下池があり、下池の北東に明治以前は幻の井寺 (井照寺) があった。大和盆地が一望できる景勝地。池の周囲に多くの歌碑がある。尚、井照寺にあった十一面観音像や半鐘などは慶運寺に受け継がれている。



川端康成 書

⑥ 纏向川

纏向山と三輪山を源流にした清流である。柿本人麻呂はこれらの山や川を多くの万葉歌に詠んだ。また激しい流れは水車に利用され小麦を製粉し、三輪ソーメン作りを盛んにした。そして車谷の地名にもなった。



⑦ 上街道

古代から続く上ッ道を引き継ぎ、奈良と桜井を結ぶ街道である。奈良の猿沢の池から桜井の慈恩寺までつながっている。平安貴族の長谷寺参り、近世の伊勢へのおかげ参りと多くの人々が行き交った。

※壬申の乱古戦場

日本書紀 天武天皇上元年7月の条

「三輪君高市麻呂、置始連 寛、上道に当たって、箸陵のほとりで戦う。大いに近江軍を破り・・・」



⑧ 芋環塚

古事記の三輪山神婚説話から三輪残った芋環を納めた所と伝えられる。また天照大神をお祀りした笠縫邑の所在をしめしている。



⑨ 箸中長者屋敷跡

松尾寺縁起に起因するらしい。箸中村の清助は貧しいが信仰心が篤かった。それを聞いた弘法大師は自作の大黒天を彼に与え、さらに信仰心を深めた清助は長者になったと言う話である。日本子供昔話にもなっている。その屋敷跡にはネズミモチの木が植えられていて、今も元気にたっている。何年経っても枯れもせず大きくもならない。



ネズミモチの木

